

第 26 回議会報告会 報告書

地域名	浅野地域		
年月日	令和6年4月19日(金)	会場名	木の香る浅野校区コミュニティセンター
開始時間	19時00分	終了時間	20時38分
参加数	男性 8人	女性 0人	合計 8人
班 長	西垣 司	司会者	西垣 司
報告者	全員	書記	中島 恵子
班員名	西垣 司、勝地 貞一、中島 恵子、西田 雄一		
	市 民		対 応
報告に対する質疑	<p>① 下水サーベイランスは市の単独事業である。コロナは、昨年5類に移行されたのに、この事業は不要ではないか。メリットは何か。その予算をコロナワクチン接種の支援等に充てたほうがよいのではないか。</p>	<p>① 下水を採取して疫学調査を行い、コロナ、ノロウイルス、インフルエンザの感染予防の啓発を行う。市民の健康を守るために必要である。</p> <p>市議会からは、国に財政支援を求める意見書を提出した。</p>	
意見交換会での質疑	<p>① 地域計画の策定を進めているが、10年後には農地の後継者や受け皿がなく、具体的な将来の形が見えない。但馬農業高校の生徒も畜産農家にはなるが、採算の取れない米作農家にはならない。今後の農地維持に不安がある。農地中間管理機構に農地を預けても、立地条件の悪い農地を認定農業者等に受けてもらえるのか。</p> <p>② 市の広報紙に予算の紹介があるが、国庫補助、県補助、一般財源の内訳や、補助率が分かるように表記してほしい。</p> <p>③ 社会福祉協議会が行っていた「移送サービス」が今年の4月から廃止となったのはなぜか。</p>	<p>① 5年後、10年後の農地利用を考えるのが地域計画で、農地中間管理機構に預け、担い手を農業法人や認定農業者等、機構が手当し、農地を守るとされている。農地は地域で守ることが大切である。今やらなくてはならないのは、地域計画の策定を進めることである。</p> <p>② 議員は実施計画書等で分かるが、市民には分からない。ご意見としてお聞きする。</p> <p>③ 利用者が少なく廃止となった。今後は、民間の福祉タクシーや介護タクシーの利用を進めている。</p>	

市 民		対 応
意見交換会での質疑	④ バス料金が低い。年間パスのようなものをつくれぬか。	④ 70歳以上の高齢者等が一路線150円で利用できる制度や、75歳以上の高齢者等がタクシー代の半額助成を受けられる制度があるので、利用いたしたい。
	⑤ 養父市の借金は現在いくらなのか。	⑤ 令和6年度末見込みで、借金（市債）は、約218億円、市民一人当たりになると103万円である。基金は、約133億円、市民一人当たり63万円である。借金は、合併当時からするとかなり減っている。
備考 なし		

議会報告会を実施したので、上記のとおり報告いたします。

令和6年5月15日

報告者 4班 班長 西垣 司